

早鷹天神

延元元年（1336年）に社を創立。天神堂はもとと神社の小高い所にあり、明治時代に現在地へ遷座しました。地元では親しみを込め「ハイタカさん」と呼んでいます。

早鷹天神座像は神像一本彫りで、彩色衣冠束帯刀を帯ぶ座像です。日頃から区民が掃除や祭事を行い、大切に守っています。



認定番号第ふるさと H27-3 号
推薦者 福本一区

一字一石塔

正徳4年（1714年）助右衛門という人が、亡くなった両親の冥福と自身の武運長久を祈念し、建立しました。



認定番号第ふるさと H27-4 号
推薦者 福本一区

小石を集め、経文を石に一字ずつ墨で書写。地下に埋納してその上に仏事執行のしるしとして石碑を建てました。

地域人権教育指導員 吉山義信

私は1970年（昭和45年）に教職に就きました。その1年前の69年は「同和对策事業特別措置法」に基づき「同和教育」が学校でも始まっていた頃です。しかし、まだ今のように差別について学習する機会もなく3年間過ごしました。

その後、転勤して「同和教育担当」となり、同和教育や部落差別などについて初めて考えるようになりました。ある日、サークルなかまで同和教育について語り合いをしているとき、差別意識は教師自身にもあるのではないかという意見が出ました。そして具体的な体験談を聞いているうちに前の学校で気になっていたある出来事を思い出しました。

新採3年目の4年生担任のとき、転校生明子さん（仮名）が来ることになり、どのクラスにするか学年で話し合ったときでした。その中で明子さんは「学校を休みがちで連絡が取れない」「万引きしたことがある」「父親は怖い人」という話が出ていました。このときは何の問題も感じないまま、結局私が担任することになりました。

しばらくして「明子さんが鉛筆をみんなに配っているよ」と聞いたので一瞬万引きのことが頭をよぎりました。でも、みんなに「物をむやみにあげたり、もらったりするのはよくないよ」と話しただけで返してもらいました。

数日後、今度は学校を休みました。連絡が取れずにいたら「明子さんが公園で犬と遊んでいる」と近くの人から学校に連絡があり、教頭先生から家庭訪問をするように言われました。

夕方、当時一緒に下宿していた学生を誘って家に行くと、明子さんは妹と2人で両親は留守でした。明子さんと話している途中、お父さんが帰って来られたので、今日学校を休んで公園にいたことを伝えました。するとお父さんは「今母親が入院しているので淋しかったです」と明子さんを見ながら言いました。明子さんは黙っていました。明子さんが「淋しがらないように犬を買ってやったつです」と話されました。

私は明子さんが鉛筆をみんなにやっていたことも話しました。鉛筆は子どもが困らないようにまとめて買っていたそうです。「だから

ら使う分だけ持っていけとゆうとつたろ」と念を押されていました。

話が終わって帰ろうとしたとき、明子さんが「お母さんの居る所を教える」と言っ外に出てきました。外はもう薄暗く街には明かりが見えていました。「あそこ」と明子さんが高台から指差した方角には国立病院がありました。

翌日から明子さんが登校してきただけで私は安心し、満足していました。後で分かりましたが明子さんの転校の理由は、入院したお母さんの近くを選んだからでした。

私たちは、人に教えられる自分では気づかないことがあります。なかまからは、明子さんから発信されていた出来事を丁寧に理解しようとしていたら、大事なことに気付き、もっとつながり合えていただろうと関わりの薄さを指摘されました。自分の未熟さ、知識の乏しさで偏見を呼び込み、まだ会ったことも見たこともない人間を決めて、簡単に判断した過ちと軽薄さを悔いました。

振り返ればこの事が「同和教育」にこだわり、人と向き合うきっかけになったように思います。

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

菊池広報展

期 間：8月2日(火)～28日(日)

1957年の創刊から現在までの広報紙をピックアップして展示します。広報紙を通じて、まちの歴史と魅力を感じてみませんか。詳しくは10ページをご覧ください。皆さんのお越しをお待ちしています。



菊池南中学校美術部作品展

期 間：8月2日(火)～28日(日)

開館時間 午前9時～午後6時

※期間中の閉館日はありません。

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

【ギャラリー】

油絵と水墨画のコラボレーション 後藤義子・後藤慶治郎

期 間：8月9日(火)～21日(日)

油絵と水墨画の二人展です。作者は大琳寺在住の後藤義子と後藤慶治郎です。皆さんぜひお越しください。

隈府小学校子どもの絵画展

期 間：8月23日(火)～9月4日(日)

平成27年度菊池市文化際絵画展で巡回特選になった子どもたちの絵です。子どもらしい絵の数々をぜひご覧ください。

【まちかど資料館企画展】

ふるさとに語り継がれる菊池の伝説展

期 間：～10月30日(日)

ふるさとの伝説はふるさとの精神風土を形成してきた貴重な文化的財産です。この企画展ではふるさと菊池に語り継がれる伝説を紹介します。

開館時間 午前9時～午後5時

※休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

学び舎が廃校になる
通っている学校や卒業した母校が廃校になる。なんとも悲しいことです。とりわけ地方の小中学校は、地域のコミュニティや文化を担う場所としての役割を果たしているといえます。
近年、全国では毎年500弱の学校が廃校。平成25年度までに約5800校の公立学校が廃校となりました。平成24年度は全国で廃校が最も多かった年で、その数は598校を数えます。同年、菊池市でも龍門、迫水、河原、水源の4つの小学校が廃校しました。廃校という事実を地域の人はどんな思いで受け止めたのでしょうか。
少子高齢化だけでなく市町村大合併が統廃合を推し進めている状況もあります。しかしながら廃校を活用していく上では行政の支援やアドバイスが欠かせないのも事実です。
廃校活用は、地域のアイデンティティが反映されるべきです。そのためにも、地域の人がコミュニティの拠点として、どう活用するのか、なにが地域に必要なのか、地域が声をあげることも必要なのだと思います。

ふるさと緑の便り
菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先
さくちふるさと水源交流館
☎0968(27)0102

「はいーいちら菊池市消費生活センターですー」 ④

問い合わせ先 菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450
(月)～(金)午前10時～正午、午後1時～午後4時 福祉課

今回はスマートフォンなどの通信端末でSNSなどのアプリを利用する場合の設定について説明します。

設定画面を探す

まず、自分が利用しているSNSなどのアプリの中から、「プライバシー」や「アカウント」「設定」などの名称が付いた部分を探してみましよう。

設定画面が見つかったら自分に合った設定に変更しましょう。

情報公開の制限

自分の情報や発信する情報をどこまで公開するか設定で制限できます。世界中の人に見てもらうには制限をかけず、友達だけに公開したい場合などはその範囲で制限をかけます。

初期設定は「全て公開」となっていることがあります。プロフィール、位置情報、投稿内容などをそれぞれ細かく設定できるものもあります。

ユーザーID検索の制限

他のユーザーが自分のIDを検索可能にするかどうか設定で制限できます。制限をかけないと、不特定多数の人と接点を持つことになり、トラブルの元になリかねま

せん。

子どもがアプリを利用する場合は、必ず制限を設定してください。友達が勝手に追加されないようにしたり、相手をブロックしたりする機能もあります。

子どもの端末は「設定」と「チェック」

子どもにスマートフォンやタブレット端末を使わせていたら、有害サイトにアクセスしていたとか、ゲームなどの有料サービスを利用していたというトラブルが多くあります。

トラブルに遭わないために保護者が持っているスマートフォンなども含め、「フィルタリング設定」や「利用制限」「暗証番号入力」など、子どもの利用に適した設定を心掛けましよう。「ペアレンタルコントロール」などの名称がつけられているゲーム機端末などもあります。

安心して利用するために

設定方法を勉強することや、設定後も保護者の定期的なチェックは必要です。スマートフォンやゲーム機の利用方法、使用時間などを親子で話し合い家族間でルールを決めましよう。